

日立物流グループのマテリアリティとKPI(評価指標)

日立物流グループは、特定した12のマテリアリティについて、中期経営計画「LOGISTEED2024」の重点施策等を踏まえながらKPIを設定しました。今後は、グループ全体でマテリアリティに対する取り組みを推進し、KPIの進捗状況の管理と情報開示を進めるとともに、ステークホルダーの皆様との対話を通じて持続可能な社会の実現をめざしていきます。

注力分野1 脱炭素・循環型社会への貢献	
マテリアリティ	脱炭素社会への貢献 気候変動への対策および脱炭素社会の実現に向け、サプライチェーンを含む温室効果ガス(CO ₂)排出量の削減やエネルギー利用の効率化および事業機会の創出に取り組む
KPI	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量の削減【2013年度比26%削減*1】 SCDOS[脱炭素モニタリングサービス]提供によるお客様の脱炭素化の支援【提案社数の年度ごとの目標の達成】 サプライチェーンを含んだCO₂排出量削減目標設定に向けた取り組み推進【2023年度目標設定完了】
LOGISTEED 2024 関連重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ESG経営の基盤強化……脱炭素化への取り組み 新たな付加価値による事業領域の拡張(LOGISTEEDの加速)……サプライチェーン最適化サービスの進化
マテリアリティ	循環型社会への貢献 資源利用の削減・回避と環境汚染防止、事業機会創出に取り組む、循環型社会へ貢献する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 再資源化率(リサイクル率)【毎年度:99%の維持】 サーキュラーエコノミービジネスモデル構築に向けた取り組みの推進
LOGISTEED 2024 関連重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 新たな付加価値による事業領域の拡張(LOGISTEEDの加速)……付加価値サービス(VAS)の拡大

注力分野2 強靱で持続可能な物流サービスの構築・進化	
マテリアリティ	強靱で持続可能な物流サービスの構築・進化 経営者の高齢化、中小輸送会社の経営不振、ドライバー不足・採用難等の社会課題に対応するための輸送強靱化策等を実行することに加え、安全・品質・生産性に優れた持続可能な物流サービスの構築・進化を図ることで、事業機会の創出および社会インフラとしての役割を果たす
KPI	<ul style="list-style-type: none"> SCDOSの提供によるお客様のSCM*2の支援【支援に関する年度ごとの目標の達成】 物流センターの自動化・省力化設備導入による動きやすい職場の実現【荷役作業の機械化(年100FTE*3)】 [SSCV]各機能の利用者網拡大による輸送の安全と効率化への貢献【SSCV-Safety/Smartの協会社への導入目標の達成】【SSCV-Vehicleの自社グループ内への導入目標の達成】 [2024年問題*4]に向けた輸送事業の強靱化【ドライバー労働基準の違反件数 0件】 メディカル物流センターのGDP*5装備の拡充【対象拠点への実装終了】
LOGISTEED 2024 関連重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 新たな付加価値による事業領域の拡張(LOGISTEEDの加速)……サプライチェーン最適化サービスの進化 スマートロジスティクスの進化……倉庫事業の強靱化(自動化・省力化、DX) 倉庫事業の強化・充実化(三温度帯倉庫、危険物倉庫の整備・拡充) 輸送事業の強靱化([2024年問題]対応、脱炭素化)

注力分野3 協創による新たな価値の創出	
マテリアリティ	成長を支える多様な人財の確保 経営戦略に応じたグローバル人財、デジタル人財、経営人財等を確保し、ダイバーシティと機会均等に能動的に取り組むことで、組織および従業員のパフォーマンスと市場競争力を高める
KPI	<ul style="list-style-type: none"> DX人財育成に向けた教育の実施【毎年度:マインドセット研修全員受講】 グローバル人財の拡大と組織風土の改革 RPA*6等デジタルツール導入による業務効率化【累積業務削減時間 120万時間】 従業員エンゲージメントサーベイ[持続可能なエンゲージメント]スコアの向上【スコア 70以上】【2023年度:国内・海外同時実施】 女性管理職比率【2023年度:10%】
LOGISTEED 2024 関連重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ESG経営の基盤強化……人財戦略

【】内は、特に記載がない場合は2024年度における目標
 ※1 対象範囲は、日立物流および国内グループ会社(スコープ1とスコープ2の合計) ※2 SCM(Supply Chain Management): サプライチェーンマネジメント ※3 FTE(Full-Time Equivalent): フルタイム当量。組織の人員がフルタイムで勤務したときの仕事量を表す単位 ※4 働き方改革関連法により2024年から適用される、ドライバーの時間外労働の上限規制等から生じる諸問題 ※5 GDP(Good Distribution Practice): 厳密な品質管理の確保を目的とした医薬品の適正流通基準 ※6 RPA(Robotic Process Automation): 人がパソコンで行う事務処理作業を自動化するソフトウェアロボット技術

マテリアリティ	DXの深化 ドライバー不足および「2024年問題」などの社会課題へ、デジタル化・省力化の施策推進によって対応を進め、事業機会を創出する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> DXによるイノベーション創出に向けたデジタル基盤の構築 デジタル事業基盤(データ連携ハブ)を活用した物流サービス改革プロジェクトの遂行【遂行件数 累計60件】 RCS(Resource Control System)*7の実装【実装件数目標の達成】 [ONEsLOGI*8]新WMS-PF(プラットフォーム)の物流業務への適合率向上【2023年度:90%適合】 特許出願(公開)件数のうちDX分野の件数と割合
LOGISTEED 2024 関連重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 新たな付加価値による事業領域の拡張(LOGISTEEDの加速)……サプライチェーン最適化サービスの進化 スマートロジスティクスの進化……倉庫事業の強靱化(自動化・省力化、DX)
マテリアリティ	協創によるビジネスモデルの構築 ビジネスパートナーとの協創によって新たなサービスやビジネスモデルの開発に取り組む
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 協創による新たなサービスやビジネスモデルの開発
LOGISTEED 2024 関連重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 新たな付加価値による事業領域の拡張(LOGISTEEDの加速) スマートロジスティクスの進化

注力分野を支える基盤

マテリアリティ	安全・健康で働きがいのある職場の実現 労働安全衛生の浸透やリスクアセスメントにより労働問題の防止・回避に向けた対策を講じることで、従業員の安全・健康を確保するための体制づくりを行う
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 労働災害 度数率/強度率 有給休暇取得率 重大事故(死亡労働災害)件数【毎年度:0件】 疾病休業日数率(健康経営の推進)
マテリアリティ	人権および責任あるサプライチェーンの構築 品質向上・生産性改善に加え、環境・社会面でのアセスメントの実施およびサプライヤーの法令遵守、関連のあるステークホルダーの人権問題の回避・防止・軽減のための対策を講じ、持続可能なサプライチェーンを推進する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 人権を尊重したビジネスの基盤整備に向けた取り組みの推進 取引先のコンプライアンス・スクリーニングの仕組み構築に向けた取り組みの推進【定期的なスクリーニングの実施】 人権教育の実施
マテリアリティ	ガバナンス・コンプライアンス 自社における企業倫理の尊重、反競争的行為の防止およびサプライチェーンにおけるコンプライアンス強化に取り組むことで、健全な企業経営のための体制を構築する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 日立物流グループ行動規範教育(eラーニング)の受講率【毎年度:100%】 女性執行役員比率【10%以上】 役員報酬へのESG取り組み等の評価の反映【反映要素の拡大】
マテリアリティ	操業時の事故防止 自社およびサプライヤーの事故防止に向けた取り組みを進め、安全な操業に努める
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 三事故*9の発生削減率【2021年度比40%削減】 予防保全強化に向けた施策の実施 [SSCV-Safety]の利活用による車両運転中インシデント発生削減
マテリアリティ	リスクマネジメント BCPの策定およびBCM(事業継続マネジメント)の遂行により、有事の際に早期の事業復旧を図るとともに、取引先や自社の秘密情報等が漏えいすることのないよう、適切かつ十分な情報管理を行う
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 全社規模の災害訓練と海外BCPキャラバン*10の実施 情報セキュリティ事故発生件数【毎年度:0件】 情報セキュリティ教育受講率および標的型攻撃メール訓練での開封率【毎年度:100%受講/開封率5%】
マテリアリティ	防災・減災の強化 自然災害や火災の予防のための災害防止対策を講じるとともに、災害発生時に迅速に復旧するための体制を強化する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 安全コックピット(安全集中管理センター)の機能拡張 自衛消防業務の見える化システムを活用した管理体制の構築 災害時初動対応訓練の実施回数

※7 物流センター内の指示機能を高度に自動化し、物流センター運営の最適化を担う統合制御システム ※8 ONEsLOGI(One Stop Logistics IT Solution): 当社子会社の日立物流ソフトウェア(株)が提供している物流管理システム群 ※9 労働災害、車両事故、製品事故 ※10 日本から指導員を派遣することで、海外拠点のリスク管理体制の構築・整備を図る活動